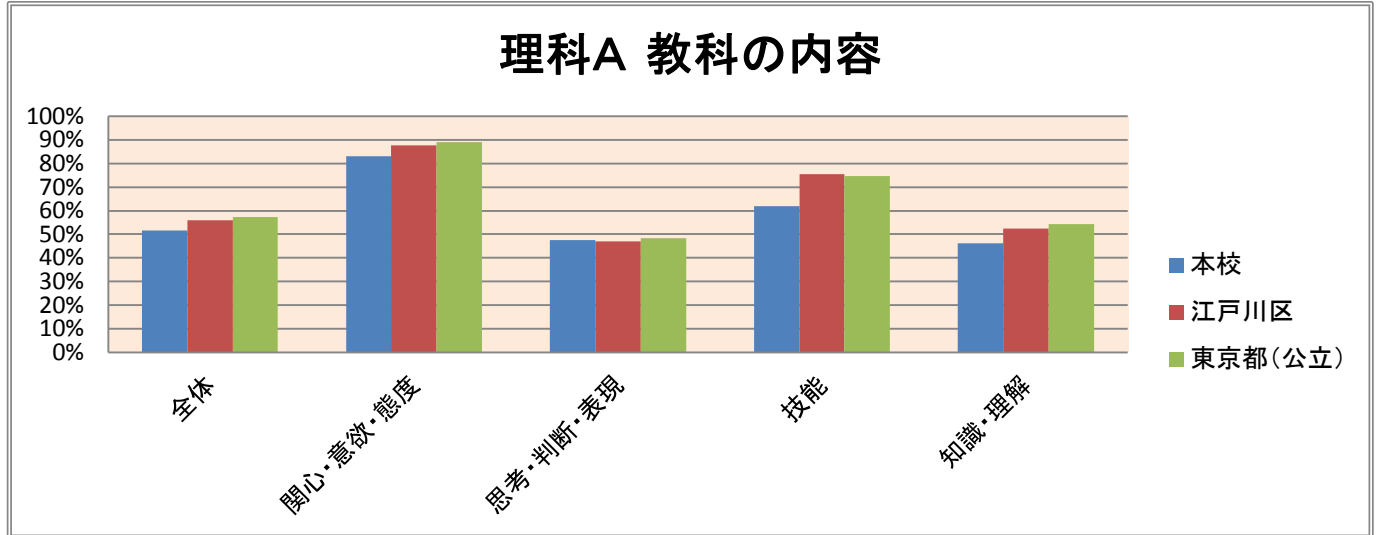


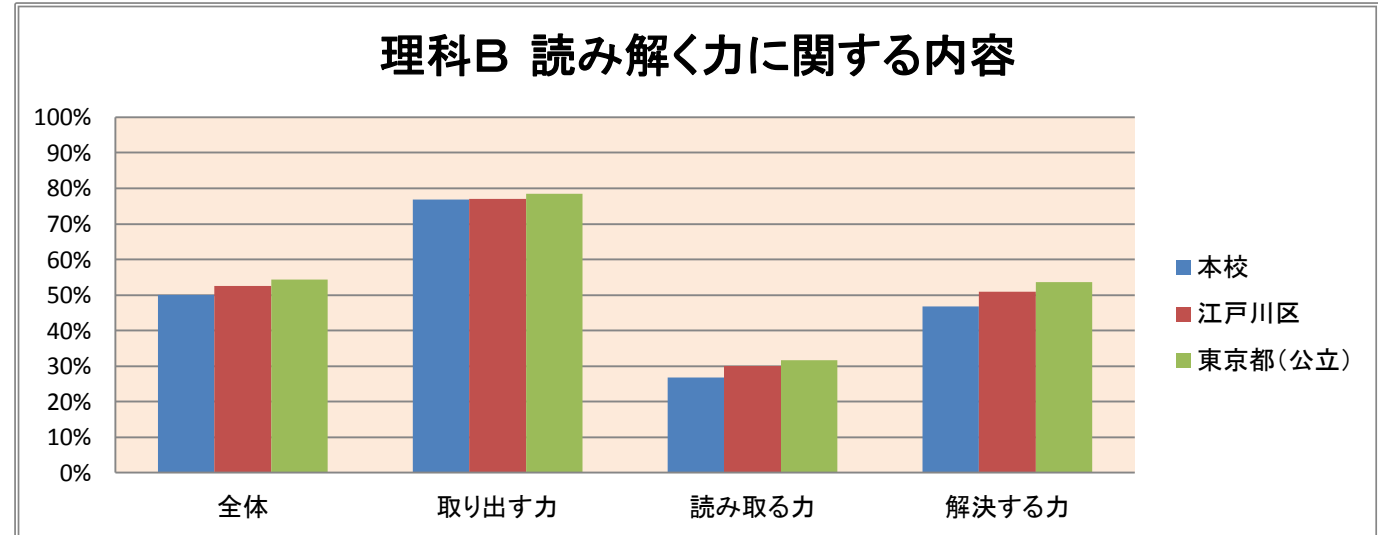
1. 分類ごとの平均正答率

(1)理科A:教科の内容



本校の理科Aの正答率は、全体としては都の平均よりも低い結果となりました。項目別では、都の平均より「関心・意欲・態度」で5.9%、「思考・判断・表現」で0.8%、「技能」で12.8%、「知識・理解」で8.1%、それぞれ下回る結果となりました。

(2)理科B:読み解く力に関する内容



本校の理科Bの正答率は、全体としては都の平均を5.3%下回る結果となりました。項目別では、との平均より「取り出す力」で1.7%、「読み取る力」で4.8%、「解決する力」で7.0%それぞれ下回る結果となりました。

2. 今後の生活に活かすポイント（正答率が低かった問題）

本校生徒の数値は、多くの項目で都の平均より低い数値であった。自然科学や科学技術に関する最新ニュース等を紹介したり、観察・実験を行ったりして、理科に対する意欲関心を高めていくことが大切である。また、理科の基本的事項(法則等)の理解や観察・実験の技能の習得を図っていくことも大切である。そのためには、楽しく分かりやすい授業の改善を行い、復習プリント等の課題を取り組ませて理解の定着を図る。さらに図書館の図書を紹介し、興味関心を高め、深い学びができるように努める。